

実践問題 1

2020年1月 問題11

保険料の仕組み

●大数の法則

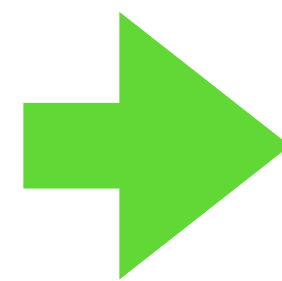
保険料の算定方法

過去のデータから性別と年齢別の死亡率を求めて算出

死亡保険

死亡率が高い → 保険料が高い

死亡率が低い → 保険料が安い



平均寿命が短い男性 → 保険料が高い

平均寿命が長い女性 → 保険料が安い

●収支相等の原則

保険会社に入る保険料 = 保険会社が支払う保険金

保険料は保険会社に入る保険料と保険会社が支払う保険金と同じになるように設定されている

保険の種類

20歳の男性が50歳まで1000万円の保障を掛けた場合

●定期保険

50歳まで1000万円の保障が続く
保険料はすべて掛け捨て（何事もなければ1円も戻ってこない）
保険料は安い

保険料/月
2,150円

●養老保険

50歳まで1000万円の保障が続く
満期がくると1000万円を手にする事ができる
定期保険と比べて保険料はとても高い

保険料/月
29,560円

●終身保険

満期はなく死亡するまで1000万円の保障が続く
50歳の時点では解約返戻金は852万円ほどになる

保険料/月
22,400円

定期保険のバリエーション

●平準定期保険

保険期間中の保険金額（万が一のことがあったらもらえる保険金）がずっと変わらない

●逓減定期保険

5 保険期間中の保険金額が少しずつ減っていく

●収入保障保険

被保険者に万が一のことがあったら受取人が年金形式で保険金を受け取ることができる

養老保険のバリエーション

●学資保険

親が子どもの教育資金として掛ける

親が万一の場合で保険料がその時点で払い込み免除になっても決めた期日に満額もらうことができる

終身保険のバリエーション

●低解約返戻金型終身保険

終身保険の保険料を節約するために保険料払込期間中の解約返戻金の金額を抑えたもの

2. 保険制度と契約者保護制度の必要な知識

< 20歳の男性が50歳まで1000万円の保障を掛けた場合（生命保険会社S社） >

● **定期保険**（月の保険料：2,150円） 保険料はすべて**掛け捨て**

何事もなく保険が終われば掛けたお金は**1円も戻ってこない**

保険料は養老保険と終身保険に比べて安い

● **養老保険**（月の保険料：29,560円）

満期がくると1000万円を手にすることができる

保険料は定期保険と比べてとても高い

● **終身保険**（月の保険料：22,400円）

満期はなく**死亡するまで1000万円の保障**が続く

50歳の時点では**解約返戻金は852万円**ほどとなる

● **死亡保険**

死亡時と高度障害時に保険金が支払われる

2. 保険制度と契約者保護制度の必要な知識

定期保険のバリエーション

- **平準定期保険**

保険期間中の保険金額（万が一のことがあったらもらえる保険金）がずっと変わらない

- **逓減定期保険**

保険期間中の保険金額が少しずつ減っていく

- **収入保障保険**

被保険者に万が一のことがあったら受取人が年金形式で保険金を受け取ることができる

養老保険のバリエーション

- **学資保険**

親が子どもの教育資金として掛ける

親に万が一のことがあって保険料がその時点で払い込み免除になっても決めた期日に満額もらえる

養老保険のバリエーション

- **低解約返戻金型終身保険**

終身保険の保険料を節約するために、保険料払込期間中の解約返戻金の金額を抑えた

生命保険の一般的な商品性に関する次の記述のうち、**最も不適切なものはどれか。**

1. 低解約返戻金型終身保険は、他の契約条件が同じで低解約返戻金型ではない終身保険と比較して、保険料払込期間中の解約返戻金が低く抑えられており、割安な保険料が設定されている。
2. 養老保険は、被保険者に高度障害保険金が支払われた場合、保険期間満了時に満期保険金から高度障害保険金相当額が控除された金額が支払われる。
3. 収入保障保険の死亡保険金を年金形式で受け取る場合の受取総額は、一時金で受け取る場合の受取額よりも多くなる。
4. 定期保険特約付終身保険（更新型）では、定期保険特約を同額の保険金額で自動更新すると、更新後の保険料は、通常、更新前よりも高くなる。

生命保険の一般的な商品性に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 低解約返戻金型終身保険は、他の契約条件が同じで低解約返戻金型ではない終身保険と比較して、保険料払込期間中の解約返戻金が低く抑えられており、割安な保険料が設定されている。

低解約返戻金型終身保険の内容より

適切

< 20歳の男性が50歳まで1000万円の保障を掛けた場合（生命保険会社S社） >

- **定期保険**（月の保険料：2,150円） 保険料はすべて掛け捨て
何事もなく保険が終われば掛けたお金は1円も戻ってこない
保険料は養老保険と終身保険に比べて安い
- **養老保険**（月の保険料：29,560円）
満期がくると1000万円を手にすることができる
保険料は定期保険と比べてとても高い
- **終身保険**（月の保険料：22,400円）
満期はなく死亡するまで1000万円の保障が続く
50歳の時点では解約返戻金は852万円ほどとなる
- **死亡保険**
死亡時と高度障害時に保険金が支払われる

定期保険のバリエーション

- **平準定期保険**
保険期間中の保険金額（万が一のことがあったらもらえる保険金）がずっと変わらない
- **逓減定期保険**
保険期間中の保険金額が少しずつ減っていく
- **収入保障保険**
被保険者に万が一のことがあったら受取人が年金形式で保険金を受け取ることができる

養老保険のバリエーション

- **学資保険**
親が子どもの教育資金として掛ける
親に万が一のことがあって保険料がその時点で払い込み免除になっても決めた期日に満額もらえる

養老保険のバリエーション

- **低解約返戻金型終身保険**
終身保険の保険料を節約するために、保険料払込期間中の解約返戻金の金額を抑えた

生命保険の一般的な商品性に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

2. 養老保険は、被保険者に高度障害保険金が支払われた場合、保険期間満了時に満期保険金から高度障害保険金相当額が控除された金額が支払われる。

死亡保険の内容より

不適切

< 20歳の男性が50歳まで1000万円の保障を掛けた場合（生命保険会社S社） >

- **定期保険**（月の保険料：2,150円） 保険料はすべて掛け捨て
何事もなく保険が終われば掛けたお金は1円も戻ってこない
保険料は養老保険と終身保険に比べて安い
- **養老保険**（月の保険料：29,560円）
満期がくると1000万円を手にすることができる
保険料は定期保険と比べてとても高い
- **終身保険**（月の保険料：22,400円）
満期はなく死亡するまで1000万円の保障が続く
50歳の時点では解約返戻金は852万円ほどとなる
- **死亡保険**
死亡時と高度障害時に保険金が支払われる

定期保険のバリエーション

- **平準定期保険**
保険期間中の保険金額（万が一のことがあったらもらえる保険金）がずっと変わらない
- **逓減定期保険**
保険期間中の保険金額が少しずつ減っていく
- **収入保障保険**
被保険者に万が一のことがあったら受取人が年金形式で保険金を受け取ることができる

養老保険のバリエーション

- **学資保険**
親が子どもの教育資金として掛ける
親に万が一のことがあって保険料がその時点で払い込み免除になっても決めた期日に満額もらえる

養老保険のバリエーション

- **低解約返戻金型終身保険**
終身保険の保険料を節約するために、保険料払込期間中の解約返戻金の金額を抑えた

生命保険の一般的な商品性に関する次の記述のうち、**最も不適切なものはどれか。**

1. 低解約返戻金型終身保険は、他の契約条件が同じで低解約返戻金型ではない終身保険と比較して、保険料払込期間中の解約返戻金が低く抑えられており、割安な保険料が設定されている。
2. 養老保険は、被保険者に高度障害保険金が支払われた場合、保険期間満了時に満期保険金から高度障害保険金相当額が控除された金額が支払われる。
3. 収入保障保険の死亡保険金を年金形式で受け取る場合の受取総額は、一時金で受け取る場合の受取額よりも多くなる。
4. 定期保険特約付終身保険（更新型）では、定期保険特約を同額の保険金額で自動更新すると、更新後の保険料は、通常、更新前よりも高くなる。

生命保険の一般的な商品性に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

3. 収入保障保険の死亡保険金を年金形式で受け取る場合の受取総額は、一時金で受け取る場合の受取額よりも多くなる。

収支相等の原則 より

不適切

< 20歳の男性が50歳まで1000万円の保障を掛けた場合（生命保険会社S社） >

- **定期保険**（月の保険料：2,150円） 保険料はすべて掛け捨て
何事もなく保険が終われば掛けたお金は1円も戻ってこない
保険料は養老保険と終身保険に比べて安い
- **養老保険**（月の保険料：29,560円）
満期がくると1000万円を手にする事ができる
保険料は定期保険と比べてとても高い
- **終身保険**（月の保険料：22,400円）
満期はなく死亡するまで1000万円の保障が続く
50歳の時点では解約返戻金は852万円ほどとなる
- **死亡保険**
死亡時と高度障害時に保険金が支払われる

定期保険のバリエーション

- **平準定期保険**
保険期間中の保険金額（万が一のことがあったらもらえる保険金）がずっと変わらない
- **逓減定期保険**
保険期間中の保険金額が少しずつ減っていく
- **収入保障保険**
被保険者に万が一のことがあったら受取人が年金形式で保険金を受け取ることができる

養老保険のバリエーション

- **学資保険**
親が子どもの教育資金として掛ける
親に万が一のことがあって保険料がその時点で払い込み免除になっても決めた期日に満額もらえる

養老保険のバリエーション

- **低解約返戻金型終身保険**
終身保険の保険料を節約するために、保険料払込期間中の解約返戻金の金額を抑えた